

2011年度

大阪ガスグループ経営計画

2011年3月11日
大阪ガス株式会社

I . Field of Dreams 2020の進捗

Field of Dreams 2020の進捗状況

国内エネルギーサービス事業では、電力事業が収益の柱となり、
海外、環境・非エネ事業では、着実に新規事業拡大投資が進捗した

○国内エネルギーサービス事業

- ・電力事業の成長
利益貢献 92億円(2010年度見込)
泉北天然ガス発電所運転開始
- ・エネファームの普及
3,000台超(2009~2010年度累計)
- ・LNG卸供給先の拡大
沖縄電力様、静岡ガス様
- ・高圧幹線建設・着工
三重・滋賀ライン、姫路・岡山ライン

○海外エネルギーバリューチェーン事業 ・新規事業拡大投資

645億円投資意思決定 計画比38%進捗
豪州ゴーンプロジェクト・豪州風力発電事業、
ハレット4・スペインサグントLNG基地事業への
参画を決定 等

○環境・非エネルギー事業

- ・新規事業拡大投資
320億円投資意思決定 計画比25%進捗
収益不動産の取得 等

○株主還元

増配: 7円/株 ⇒ 8円/株配当(+1円/株)
自己株式取得: 200億円

Ⅱ. 2011年度 経営計画

2011年度 活動計画

【活動指針】

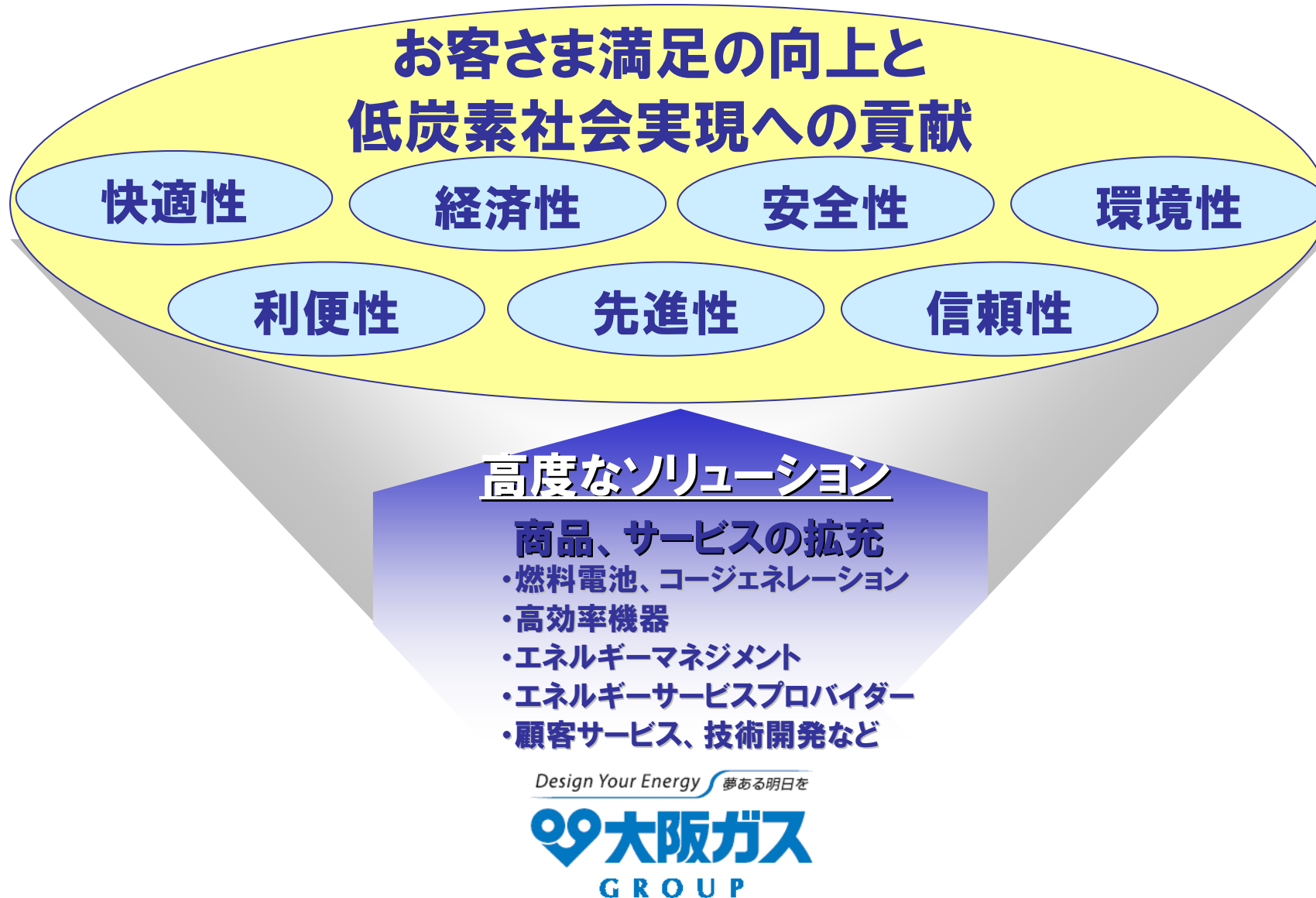
Boost Up

Field of Dreams 2020**実現に向け加速する**

【重点実施項目】

- 1.お客さま満足の向上と低炭素社会実現への貢献
- 2.成長投資・事業拡大
- 3.安定供給・保安の確保、CSR
- 4.スマートワークへの取り組み

1. お客様満足の上と低炭素社会実現への貢献



1. お客様満足の上と低炭素社会実現への貢献

1/7

1. 業務用・工業用市場

(1) 天然ガスの普及拡大、高度利用

① 大規模・小規模熱需要(工業炉・ボイラ)向け

- ・他エネルギーからの燃料転換の推進
- ・バーナー等のエンジニアリング力を活用し
お客様の省エネに貢献



ガスコージェネレーションシステム(1,000kW)

② コージェネレーションシステム

- ・初期投資費用、メンテナンス費用低減を含めた
経済性向上の推進

③ 空調システム

- ・高効率ガスヒートポンプ(GHP)の発売(APF※5.7相当)
- ・次世代超高効率GHPの技術開発

※APF=通年エネルギー消費効率

④ 涼しい厨房「涼厨(すずちゅう)」

- ・涼厨機器319機種にバリエーション増



1. お客様満足の上と低炭素社会実現への貢献 2/7

1. 業務用・工業用市場

(2) エネルギーサービスプロバイダー事業の拡大

ガス設備のエンジニアリングに加え、ITモニタリング・制御、水処理、LED照明による省エネでお客様のCO₂削減に貢献

① ITモニタリング・制御

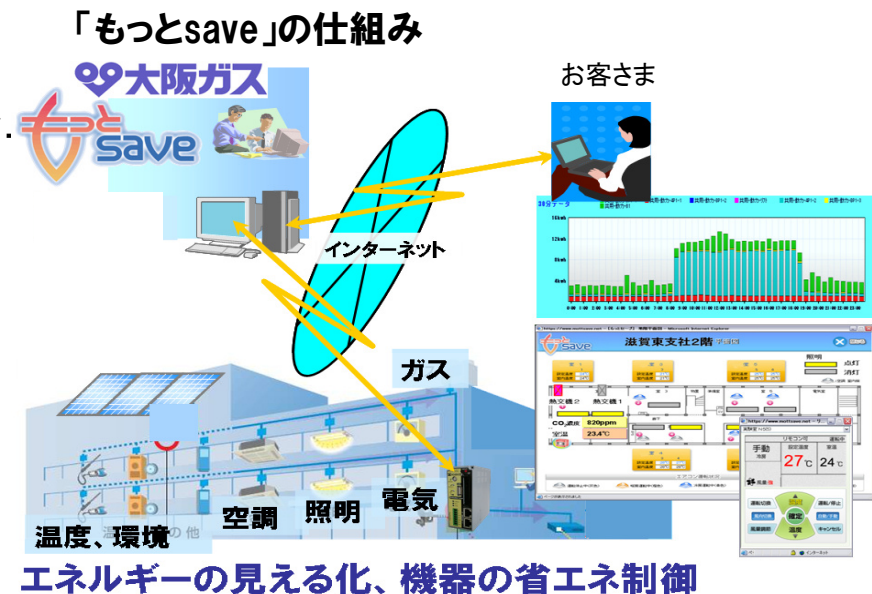
「エネフレックスプレミアム」「もっとsave」のリアルタイム計測、見える化、遠隔監視・制御を活用し、お客様のエネルギー管理、省エネニーズに貢献

② 水処理

・「廃液真空濃縮装置」「井水利用、節水、リサイクル」などのノウハウを活かした最適システムのご提案

③ LED照明

・イニシャルレスレンタルスキーム等のご提案



1. お客様満足の上と低炭素社会実現への貢献

3/7

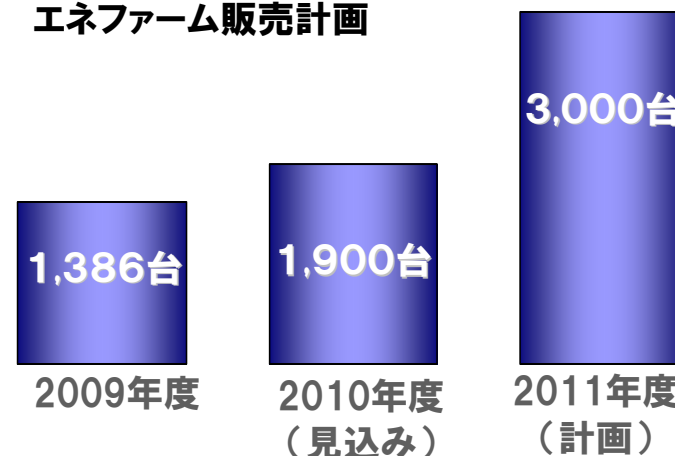
2. 家庭用市場

(1) マイホーム発電の普及

① エネファーム(PEFC:固体高分子形)の普及

2011年度販売目標: **3,000台**

エネファーム販売計画



② 燃料電池の技術開発

1) エネファームの技術改良

さらなる効率アップ、コストダウンへの取り組み

2) SOFC(固体酸化物形)の開発

省スペースで集合住宅設置も視野に入れたSOFCの開発

③ エコウィルの普及

2011年度販売目標: **4,100台**



エネファーム

1. お客様満足の上と低炭素社会実現への貢献

4/7

2. 家庭用市場

(2) 高効率機器の普及

① 高効率給湯器エコジョーズの普及

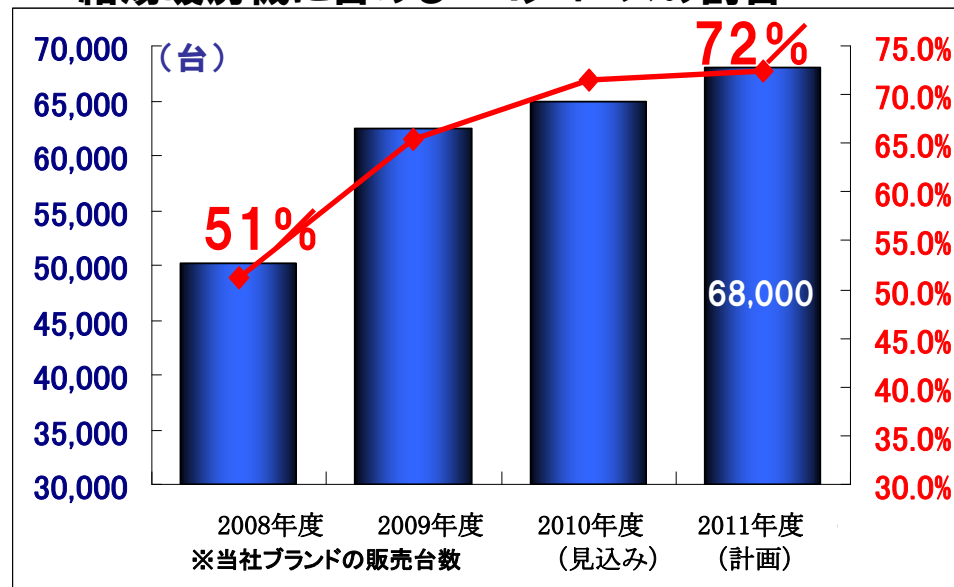
2011年度販売目標: **68,000台**

1) らく得リースへの追加ラインナップ*

⇒2011年3月開始 **らく得リース**

※ カワック、ミストカワックも対象

エコジョーズの販売台数と
給湯暖房機に占めるエコジョーズの割合



(3) サービスメニューの拡大

① HEMS「エネルギーPLUS」の拡大

・新築集合住宅に加え、新築戸建住宅にサービス開始

② 他社ブランド品も含めた給湯器保証

サービスの開始 ⇒2011年7月予定



エコジョーズ

1. お客様満足の上と低炭素社会実現への貢献

5/7

3. 再生可能エネルギーの普及拡大

(1) 太陽光発電

- ① 家庭用販売目標: **2,400件** (前年比171%)

太陽光発電×家庭用コージェネの「W発電」の普及促進

(2) 太陽熱システム

- ① 家庭用 太陽熱利用ガス温水システム「ソラモ」
② 業務用 太陽熱利用ソーラークーリングシステム

(3) バイオガス

- ① バイオガスの当社導管網への受入れ拡大

神戸市東灘下水処理場さまからのバイオガスの通年受入: **約80万m³/年**

- ② お客様先でのバイオガス利用の促進

- 1) 超高温可溶化技術の活用
2) UASB※の活用

※工場の廃棄物・排水からバイオガスを取り出す技術

1. お客さま満足の上と低炭素社会実現への貢献

6/7

4. エネルギーマネジメント技術の実証・確立

(1) スマートエネルギーハウス



居住実験住宅
(王寺)

- ① 最新技術の性能実証・課題抽出
- ② 居住住宅データの収集

成果の活用

更に、集合住宅、面的利用で検証



けいはんなエコシティ NEXT21

連携

課題抽出・改良

成果の活用



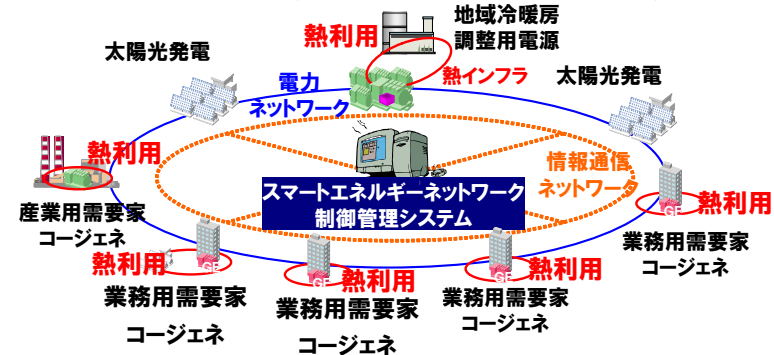
技術評価住宅
(西島)

- ① 将来の先端技術の評価・検証
- ② 居住住宅データの再評価

(2) スマートエネルギーネットワーク

① 制御ロジックの検証・確立

- ・お客さまとエネルギーコミュニティを構築(2010年度)
- ・電力融通によるエネルギー需給の最適化
- ・コージェネによる太陽光発電出力変動の補完(平滑化)



実証事業にご参加いただいているお客さま

アサヒビール 吹田工場 様	京都 リサーチパーク 様	近畿大学 本部キャンパス 様	国際電気通信 基礎技術研究所 様	サントリー酒類 京都ビール工場 様
西日本電信電話 本社 様	日本製薬 大阪工場 様	松本油脂製薬 本社工場 様	CTS 岩崎エネルギーセンター 様	

(3) スマートエネルギービル

① 新しい低炭素化ビルのコンセプトの確立

設計プロセスに行動観察手法などを取り入れた、
人の行動を重視した低炭素化ビル
(北部ガスビルを改修)

1. お客様満足の上と低炭素社会実現への貢献

7/7

5. 低炭素社会実現に貢献する技術の事業化に向けたチャレンジ

(1) 燃料電池自動車向けの水素ステーションに関する技術開発

(2) 事業化を推進する技術

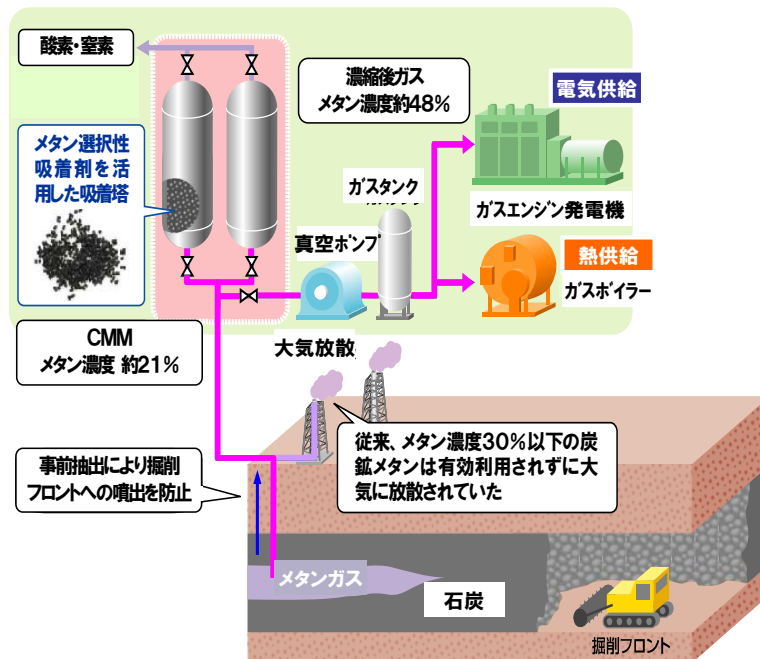
① 国内化学工場へのAATGプロセス(新規合成ガス製造プロセス)の導入

② 中国における炭鉱メタン濃縮プロセスの実機導入と新規案件獲得

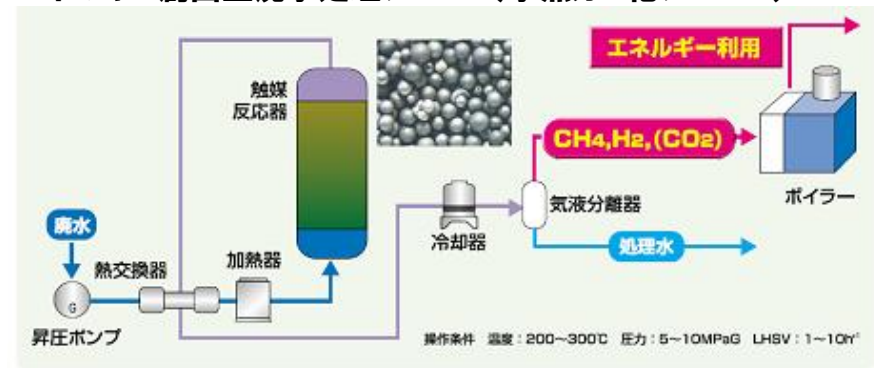
③ エネルギー創出型廃水処理プロセスの実証による技術確立と潜在需要の絞り込み

大阪水素ステーション (35MPa)

炭鉱メタン(CMM)濃縮システムフロー



エネルギー創出型廃水処理プロセス(水熱ガス化プロセス)



2. 成長投資・事業拡大

1/3

1. 海外エネルギーバリューチェーンビジネス

(1) これまでの成果

① FoD2020に対する投資の進捗(意思決定ベース)

投資計画(2009年度～2013年度)	投資実績(2009年度～2010年度)	進捗率
1,700億円	645億円	38%

② 利益貢献(営業利益+持分法利益)

約60億円/年(2004年度以降の平均)

(2) 2011年度活動

① 上流事業

新たなLNGの権益に加え、
シェールガスなど非在来型ガス
開発PJへの参画

② 中下流事業

先進国のIPP、LNG基地、パイプラインに加え
LDC(都市ガス配給事業)等への参画



主な取得案件	国	種別
① 出光スノーレ	ノルウェー	油田権益
② アモレビエータ	スペイン	IPP
③ サгент	スペイン	LNG基地
④ フリーポート	米	LNG基地
⑤ ゴーゴン	豪	ガス田権益
⑥ シェフイハットII	UAE	IWPP

2. 成長投資・事業拡大

2/3

2. 国内電力ビジネス、広域供給

(1) 国内電力

泉北天然ガス発電所の安定操業、
グループ電源の最適運転



泉北天然ガス発電所

(2) 広域供給

各地域のエネルギー事業者との連携による、
広域天然ガス供給の実施



2. 成長投資・事業拡大

3/3

3. 関係会社

(1) 都市開発事業(アーバネックスグループ)

- ① 快適な居住空間の提供を通じた分譲・賃貸住宅、オフィス事業拡大
- ② 京都リサーチパークにおける新産業創出・企業成長支援



京都リサーチパーク9号館

(2) 情報事業(オージス総研グループ)

- ① 新しいサービスビジネスの強化(クラウド、BPO等)
- ② 大阪ガス「スマートワークノウハウ」の事業化



BPO事例(オージス 上海オフィス)

※BPO=Business Process Outsourcingの略

(3) 先端材料事業(大阪ガスケミカルグループ)

- ① カメラレンズの超高屈折率化(携帯電話用カメラレンズ)
- ② 太陽電池用シリコン製造炉向け成形断熱材の拡販



カメラレンズ

(4) LPG・産業ガス事業(リキッドガスグループ)

- ① LPG・産業ガス・LNGによるマルチエネルギー事業展開
- ② 低温粉碎技術を活かした既存販路の拡大・新規用途の開拓



低温粉碎事業

(5) ライフサービス事業

- ① 行動観察ビジネス(生産性・付加価値向上支援)の拡大



大阪ガス行動観察研究所

3. 安定供給・保安の確保、CSR

1. 安定供給と保安の確保

(1) 安定供給

- ① 中長期のLNG安定調達
- ② 長期的視点からの計画的な設備形成
 - 1) 泉北製造所第一工場LNGタンク建設計画の推進
 - 2) 導管ネットワーク基盤の強化
 - 三重・滋賀、姫路・岡山ラインの建設

LNGタンク(イメージ)



(2) 保安の確保

- ① エネルギー製造・供給設備における万全の保安
- ② お客さまの保安確保
 - 1) 法定業務に加えた自主的な取り組みの継続
 - 安心・安全機能を備えたガス機器の普及、業務用厨房へのCOセンサの設置 等

2. CSR憲章に基づく取り組み強化

- ① 小さな灯30周年事業実施(社会貢献活動)
- ② キッズ応援プロジェクト「エネルギーキッズ」
- ③ パソコンリユース「はじまるくん」活動拡大(障がい者就労拡大に貢献)



4. スマートワークへの取り組み

1/2

1. お客様サービスの高品質化

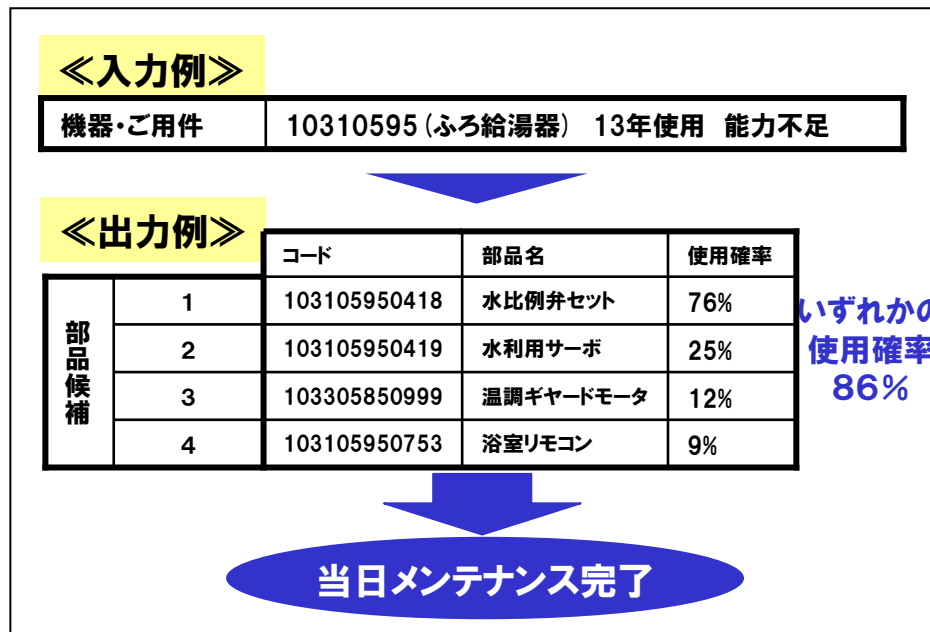
(1) 機器メンテナンス時の即日完了率向上(携行部品予測システムの活用)

・過去の修理部品データ分析に基づく予測ロジックの利用

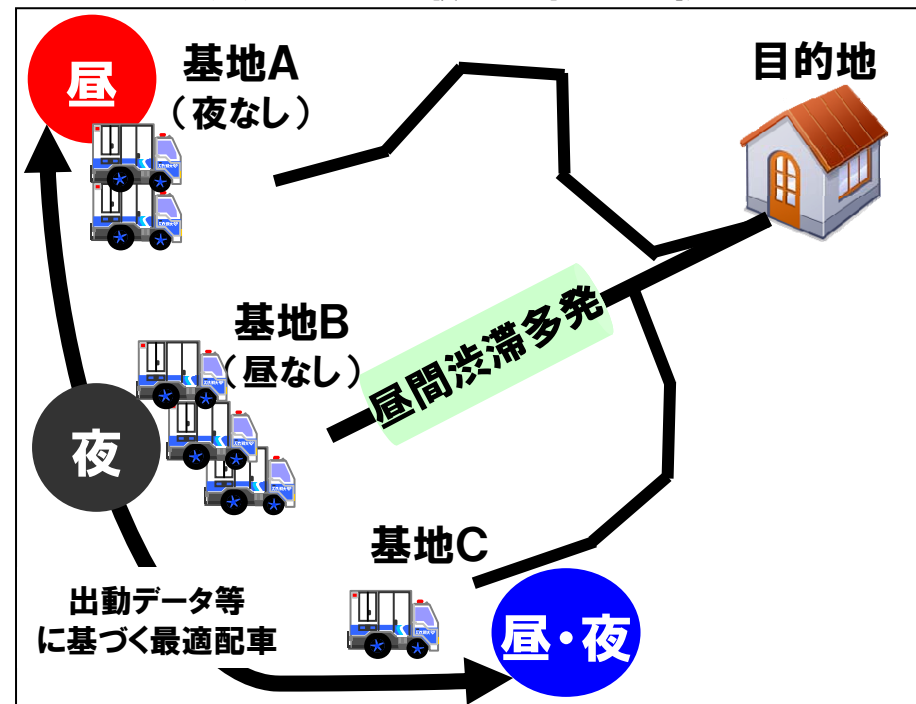
(2) 緊急車両の最適配車と最適出動拠点の決定による、お客様宅への到着時間短縮

・過去の出動履歴と渋滞情報等の活用

携行部品予測システム



緊急車両の最適配置の一例



4. スマートワークへの取り組み

2/2

2. オフィス環境のインフラ整備

(1) ワークスタイル変革の推進(2008年度～)

① ハード・ソフトインフラの環境整備

無線LAN、リモートアクセス環境、大容量ファイルサーバ、ウェブ会議、電子掲示板 等
⇒時間と空間の制約を緩和(レスペーパー化、フリーアドレス、移動時間の削減等に寄与)

② データインフラの環境整備

見える化基盤の構築

(2) 見える化基盤活用によるデータ収集と分析の効率化・自動化

月報、週報、定例会議の資料作成等の単純業務を効率化し、
創出された時間を利用して、さらに付加価値の高い業務に取り組む

フリーアドレスの導入



ウェブ会議



掲示板(ウェブコロ)



2011年度 ガス・電力販売量計画

ガス販売量は、家庭用と商・公・医用の減少を工業用の需要開発等で補完しほぼ、前年並み
電力販売量は、卸先への販売増により、2010年度比+1.3%

【ガス販売量】

		2010年度見込	2011年度計画	前年差(前年比)
家庭用	百万m ³	2,273	2,237	▲35(98.4%)
商・公・医用	百万m ³	1,619	1,552	▲67(95.9%)
工業用	百万m ³	4,107	4,168	+61(101.5%)
他ガス事業者への供給	百万m ³	485	491	+6(101.2%)
ガス販売量合計	百万m ³	8,484	8,448	▲36(99.6%)
お客さま数(年度末)	千件	7,014	7,050	+36(100.5%)

(連結)ガス販売量	百万m ³	8,515	8,479	▲36(99.6%)
-----------	------------------	-------	-------	------------

【電力販売量】

		2010年度見込	2011年度計画	前年差(前年比)
電力販売量合計	百万kWh	7,071	7,162	+91(101.3%)

2011年度 収支計画

ガス販売量は、ほぼ前年並みであるが、スライド差損の増加などにより、
 経常利益は2010年度比▲12.5%の700億円

	グループ連結			大阪ガス個別		
	2011年度計画 (億円)	2010年度見込 (億円)	増減率 (%)	2011年度計画 (億円)	2010年度見込 (億円)	増減率 (%)
売上高	12,670	11,700	+8.3	10,015	9,020	+11.0
営業利益	740	845	▲12.4	430	520	▲17.3
経常利益	700	800	▲12.5	440	530	▲17.0
当期純利益	435	450	▲3.3	310	335	▲7.5
SVA	100	124	---	40	72	---
ROA	2.9%	3.0%	---	2.6%	2.9%	---
ROE	6.2%	6.7%	---	5.4%	6.2%	---

前提：原油価格(JCC)100ドル/バレル、為替レート85円/ドル

原油価格と為替レートの変動による経常利益への感度

原油価格1ドル/バレル	9億円/年	為替レート1円/ドル	12億円/年
-------------	-------	------------	--------

2011年度 投資計画

既存事業品質向上投資、新規事業拡大投資を合わせて、1,420億円の計画

【連結ベース】

(単位:億円)

	2010年度見込 (億円)	2011年度計画 (億円)
既存事業 品質向上投資	545	450
国内エネルギーサービス事業	64	245
海外エネルギーバリューチェーン事業	83	480
環境・非エネルギー事業	113	245
新規事業 拡大投資	260	970
投資額合計	805	1,420

以上

「見通し」に関する注意事項

本資料には、将来の業績に関する見通し、計画、戦略などが含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。